

安心して住みよい町に！

議会だより

からうら

No. 69

2014. 8. 30発行

きたきた
きたきた

まちの声 **キャッチボール** ②

検証 **マラソン議会** ⑤

災害時に役立つ訓練を **防災シリーズ⑥** ⑥

防災対策の強化を (一般質問) ⑦▶⑮

女性の立場から ボランティアシリーズ⑥ ⑮

「まちの声 キャッチボール」始まる!

民生児童委員会との懇話会



町民と議会が意見交換を行い、相互理解を深め、情報の共有を図って課題などを町に提言することを目的に開かれた。第1回目は、7月25日に横瀬集会所において、民生児童委員20人と「今後の高齢者施策」をテーマに実施した。

情報が足りない!!

主な提言

民生委員

委員からの情報は町などに提供するが、町や包括支援センターからは個人情報保護ということで、情報提供が少ない。

民生委員

町や社協、各種ボランティアが安否確認を行っているが連携されていない。ネットワークが必要。

議会

活動に必要な情報の共有化を提言する。

民生委員

生活保護の申請についても情報が足りないため、民生委員だけが知らずケースワーカーが出てきた時点で役割が終わる。結果も知らされない。

民生委員

認知症の人を地域で見守れというが、情報を出してくれない。民生委員にも守秘義務はある。

民生委員

防災面からは要支援者の情報は必要などころへ開示してもよいと、昨年に法改正がされている。

議会

情報不足で民生委員の活動に支障をきたすのは本末転倒である。町の見解をただす。

タクシー券

民生委員

交通弱者へのタクシー券は、居住地によって不公平感がある。公平になるような配慮と使いやすく条件緩和できないか。

議会

今までも一般質問などで取り上げてきたが、今後も継続して使い便利の向上を提言していく。

安全・安心

民生委員

町有の軽パトロール車を補導員が利用できるか。

議会

町に確認する。

速水会長の一言



民生委員の活動課題を直接言えたことは大変有意義でした。これらを執行部側に提言し、改善することによって、町民の福祉向上に役立つことを期待しています。

懇話会の団体募集!

お気軽に

○申し込み書を議長に提出して下さい。(用紙は議会事務局にあります。)

○議会から出向いて行きます。

5月会議

5月30日に開会し、川北簡易水道工事請負契約の承認と専決処分報告、議会の会期等を定める条例の一部改正を審議した。

請負契約の承認

川北簡易水道配水池等整備

9828万円

川北簡易水道水道管整備

8964万円



計画のステンレス製配水池（川北水道）

専決処分の内容

税賦課徴収条例の一部改正

軽自動車税がアップ

（27年度新車購入から）

一般会計補正予算

過疎債の限度額引き上げ

340万円

町民の声に対する質問

通年の会期制の利点を活かすため、「町民の声に対する質問」を導入し、3議員が質問しました。

部議員

問 沼江の賃貸住宅の年代別入居状況と家族構成、家賃補助対象世帯数は。

答 伊丹参事

入居者の年齢や家族構成については、個人情報規制上報告できない。

家賃補助の対象世帯は6件の申請が出ている。

問 患者輸送車の事故対応の結果は。

答 伊丹参事

刑事責任は発生していないが、民事裁判として現在、係争中である。

山野議員

問 町道「横瀬・与川内線」の急傾斜改良工事が3月末完成予定より遅れている。その理由と完成時期は。

答 柳沢建設課長

電柱の移転が遅れたのが原因で、完成予定は6月末の見込み。



完成が遅れた「横瀬・与川内線」

問 東部広域農道の中山工区橋梁工事が遅れている。舗装工事と併

せた完成時期は。

答 柳沢建設課長

橋梁の取り付けとその舗装については7月末までに完成予定。

国清議員

問 病院が院外処方になって2カ月が経過したが、利用者の声とその対応策は。

答 岡本病院事務局長

「調剤薬局」へ行くのに手間がかかり待ち時間があるが、説明がていねいとかジェネリックで安く買ったとの声を聞いている。

今後も、利用者の負担軽減を図りたい。

問 県道新浜勝浦線「中山工区」の進捗状況と今後の見通しは。

答 柳沢建設課長

現在、東側100メートルの部分について、詳細修正設計を発注し用地幅杭を設置した。今後は用地関係者に説明し、理解を得たのちに補償物件の調査を行う。

6月会議

6月24日に開会し、25年度一般会計の繰越明許費と簡易水道特別会計の継続費について、報告を受けた。

また、「町民の声に対する質問」を2議員が行った。

一般会計繰越明許費

消防救急デジタル無線事業や地籍調査事業など

約2億5000万円

簡易水道特別会計

川北簡易水道事業

約3556万円

町民の声に対する質問

麻植議員

問 果樹研究所の跡地利用について、経過報告を。

答 野上産業交流課長

24年度から9回の検討委員会を開催し、26年4月9日に答申が出された。内容を検討した結果、取得や維持管理費に多大な費用が必要なことから、断念する方向である。



断念か？跡地利用

節議員

問 小・中学校の「土曜授業」について、どのような検討がされているのか。

答 久木教育委員会事務局長

2月に県から基本方針が示され、3月以降毎月、学校長や関係者などから意見を聞き、課題やスケジュールについて検討している。



若あゆ会議 (7月)

「若あゆ会議」

は7月14日、23

日、25日まで開

かれ、一般会計

補正予算を審議

し可決しました。

また、追加議案として教育委員

会委員の任命が提案され、同意し

ました。

一般質問は8議員が町の政策な

どを問いました。

補正予算の主なもの

消防備品購入費 300万円

(全団員の安全靴)

電算保守業務委託料

413万円

学童保育委託料

74万円

質疑

国清議員

問 全消防団員の安全靴を購入するが、単価はいくらか。

答 伊丹参事

定価約5万円の物が上勝、佐那河内と合同で大量購入するため、1万6千円となる。

美馬議員

問 学童保育の補正内容は。

答 大西福祉課長

「ちやいどクラブ」で、夏休みなどに利用者が増えることへの対応で、シルバー人材センターからの指導員を1名追加する。

節議員

問 電算室移設費の補正はこれで終了か。

答 伊丹参事

工費費はこれで終わり、後は機器の整備となる。

ようせい！

新たな教育委員会委員



谷口智代さん (中山)

走り続けた マラソン議会

迅速に対応！ 補正予算や契約など



25年7月にスタートした通年会期制（マラソン議会）、町民にはどう理解されたのか、メリット、デメリットなどを検証した。

全国的にもめずらしく県内外からの視察が増え、**傍聴者も増えた。**

町民からは「毎日会議を開いているようで大変やなあ〜」とか「経費が多くかかるのでは」などの声が聞かれたが、結果的には会議を開く定例日35日間（条例で定め）が、8日間少ない27日間であり、**経費が増えることもなかった。**

議会運営では、毎月開催することで執行部からは「**資料準備が大変だ**」などの声もあった。議会も常任委員会を廃止し、本議会中心主義や「読会制」を取り入れたことで、当初はとまどいもあったが、年間を通じて定例日が決まっていて**行事等が組み易い**ことや、**急ぐ補正予算や契約が毎月審議**され、議決・執行されたことは**大きなメリット**となった。

*新たに「町民の声に対する質問」！

常任委員会を廃止したことで、行政に対し「町民の声」を質問する機会が少なくなったので、各月の会議に事前に通告し「町民の声に対する質問」を新たに設け5月からスタートした。

再スタート 各月の定例日を決める

7月からの「マラソン会議」再スタートに向けて、6月会議において定例日を条例で決めました。

〈開催月・日〉 ※()は通称

26年7月会議	(若あゆ会議)	10、23、24、25日
8月会議		19日
9月会議		3、19日
10月会議		21日
11月会議	(みかん会議)	6、26、27、28日
12月会議		16日
27年1月会議		20日
2月会議		17日
3月会議	(ひな会議)	3、4、17、18、19、20日
4月会議		28日
5月会議		19日
6月会議		16日

このように1年間の定例日を決めることで、町内における行事等も計画が立てやすくなり、議会の傍聴などに、1人でも多くの方が参加してくれることを期待しています。



災害時に役立つ訓練を

7月25日、防災対策特別委員会を開催し、全町一斉防災訓練について話し合った。

今回で8回目となるが、訓練がマンネリ化してきているので、「もっと災害時に役立つ工夫を」との提言があった。具体的には、地区での危険場所、避難経路での危険箇所を地図に落とし「避難マップ」を作成するなど論議した。



10年ぶりに閉ざされた「中角樋門」

避難情報のレベルは

台風11号接近時に、町から「避難準備情報」「避難勧告」「避難指示」が発令されたが、混乱があった。

これらの違いをあらかじめ理解しておくことが、「**自らの身を守る**」ことにつながります。

危険度

弱

① 避難準備情報

住民に対して避難準備を呼び掛けるとともに、高齢者や障がい者などの災害時要援護者に対して、**早めの段階で避難行動を開始することを求めるもの**です。

② 避難勧告

災害によって被害が予想される地域の住民に対して、**避難を勧めるもの**です。

強

③ 避難指示

住民に対し、**避難勧告よりも強く避難を求めるもの**です。避難勧告よりも急を要する場合や人に被害が出る危険性が非常に高まった場合に発表します。**ただちに避難行動を開始してください。**

東部広域農道整備促進特別委員会

7月7日大型台風8号が近づく中で開催され、平成25年度事業実績は1〜8工区(中山く和川内間)に集中して工事が行われ神谷川に30mの橋が架かり、現在仕上げ中であると報告された。
平成26年度も引き続き1〜8工区で、側溝・舗装工事を神谷川く和川内間で行う予定である。質疑に入り、



やっと完成した神谷川橋(中山)

問 工事が計画通りの実績が上がっていない理由は？

答 県の予算が付かなかった。

問 工事に使用した町道の補修は県の予算ですべてほしい。

答 県と協議する。

○その他

与川内の土捨て場下の住民から苦情が問題となり、県は調査し説明したが納得されていない。現在土捨て場は使用できないと説明があった。

会議終了後、現地に向き、橋と舗装予定箇所を視察して散会した。委員4名と大西議長は午後の東部広域農道整備促進期成同盟会総会に出席した。

同様の事が議題となった。

一 般 質 問

議員が町の執行部に対して、さまざまな角度から町政について質問すること

町の課題に切り込む！

質問議員	質 問 事 項	ページ
美馬友子	1、男女共同参画、どう進めていくのか 2、避難準備情報、その時の支援は 3、健康づくり、ラジオ体操の普及を	8
河野道雄	1、子育て支援強化を 2、高齢者福祉の充実を 3、特定健診の受診率アップを	9
山野忠男	1、農業者所得の向上を 2、ホテル歩道橋の改良について	10
井出美智子	1、給食にもっと野菜を 2、ひきこもり無業者への対策を 3、若者定住促進の制度を	11
国清一治	1、大災害への備え、各地区に防災士を 2、県道新浜勝浦線、 「中山工区」の完了、「星谷工区」着工へ 3、どう進む「3期工事」沿江バイパス 4、早期の改修を、鶴林寺トイレ	12
麻植秀樹	1、土石流対策、砂防ダム建設は 2、県道徳島上那賀線、中角通学路の見通しは 3、南岸堤防の強じん化は	13
森本守	1、電動車いす、安全対策は 2、地籍調査について、今までの実績は 3、特定健診について、一部負担金は無料にしては	14
節公一	1、「道の駅」運営、管理 効率的な運営方法は 2、地域おこし、協力隊の拡大を 3、若者定住対策 4、役場庁舎、福祉センターの耐震、改修は	15

次の会議予定日は9月3日、9～11日、19日です。

男女共同参画

どう進めていくのか

基本計画を策定 (副町長)

美馬友子議員



問 町の総合計画では、男女共同参画社会の実現とあるが、どう進めていくのか。

答 福田副町長

町では本年度に基本計画を策定し、計画を作ることと議論が深まればと考えている。

問 計画の段階で多様な意見を反映するために、住民参加を求めるべきでないか。

答 笹山住民課長

これから10名程度人選し「男女共同参画策定委員会(仮称)」を設置する。また、住民の意識調査など行う。



笹山住民課長

避難準備情報

その時の支援は

問 避難準備情報は、災害が発生する恐れがあると認めたととき、町長は特に避難行動に時間を要する高齢者など「災害要援護者」に対し、早期の避難を促す行為であるが、どんな方法で情報が届くのか。また、その支援は。

答 伊丹参事

防災行政無線によって周知する。病院や介護の施設と早い段階から連絡を取り合い、「要援護台帳」を活用し早めの避難につなげる。

問 平常時に支援が必要な方は、災害時にはさらに困難となる。住民の協力がないと対応できないので、情報の共有が必要では。

答 伊丹参事

災害対策本部を設置し、本部の判断で福祉救護部から、自主防災組織に情報を渡せる。



みんなで参加を!!ラジオ体操 (棚野)

健康づくり

ラジオ体操の普及を

問 ラジオ体操は、曲さえかかれば誰もがどこでもでき、費用もかからない。もっと普及すべきでは。

答 福田副町長

ラジオ体操は広く普及しやすい運動であるので、健康増進になればと考えている。

問 健康増進や体力の向上、地域の輪を活性化できる「町民体育祭」の再開は。

答 福田副町長

復活の声が大きくなってきた。来年度以降の再開に向け検討中である。

答 中田町長

来年は町政60周年の記念の年でもあるので、実行委員会を立ち上げ、多くの皆さんに参加してもらい楽しく健康増進が図れる「町民体育祭」になればと考えている。

問 熱中症を予防するために、一斉放送で対策を周知できないか。

答 福田副町長

命にもかかわるので、ホームページでも広報を始めた。より効果的な方法を考えたい。

河野道雄議員



子育て支援強化を

実施可能なものから改善する
(福祉課長)

問 児童保育料が、「ちやいるどクラブ」と「たけのこクラブ」で違っている。子育て支援強化のために、料金を低い方に合わせて統一したらどうか。

答 大西福祉課長

現在、「ちやいるどクラブ」28名、「たけのこクラブ」で32名が利用しているが、保育内容、指導員数、保育料等に少し違いがある。今後、双方の保護者会の意見を聞いて、実施可能なものから、改善していきたい。

高齢者福祉の充実を

問 地域のお年寄りを在宅でケアする体制整備は、待ったなしの課題である。県では、地域の実情に応じたシステム作りのために中山間地域と都市部から、それぞれ地域を選定し27年度にモデルを作る。町がモデル地に手を挙げてはどうか。

答 大西福祉課長

すでにモデル地は内定されているので、町では高齢者支援策をより充実させたい。

問 町の特養入所待機者は90名で、緊急を要する方は60名もいると聞くがどう対応するのか。

答 大西福祉課長

次期策定予定の「第6期介護保険計画」で、検討することになっている。



待機者が多い…

問 施設の増設は、考えているのか。

答 中田町長

2025年には、町の高齢化率がピークを迎える。施設の整備は、介護保険料の負担増も伴うため、慎重な議論と実施計画が重要であり、介護給付費の適正水準維持のためにも、現行の介護予防事業をより充実させていくのが良策と考えている。

問 在宅介護促進のために、介護士などの養成講座を開設してはどうか。

答 中田町長

14年に住民福祉センターで「訪問介護員養成研修会」を開催し、21名の受講者があったが、以後、実施していない。

特定健診の受診率アップを

問 勝浦町総合計画の中で、5年間の重点施策として、保健医療では、生活習慣病や疾病の予防、早期発見、病院の機能向上があり、特に27年度には、特定健診の受診率65%を目指すとしているが、どうなのか。

答 岡本病院事務局長

20年度は24・1%から24年度は43・7%と上がってきている。引き続き努力する。



岡本病院事務局長

山野忠男議員



農業者所得の向上を

ブランド化を進める（町長）

問 県の調査で、農家の一戸当たり生産所得は、7年度の126万円から23年度には、76万円まで落ち込んだ。このままでは勝浦の農業は将来が危ぶまれるが、所得向上策は。

答 野上産業交流課長

勝浦町はみかん農家を中心だが、一戸当たりの所得は少ない方ではない。所得向上のため、23年度から貯蔵みかんのブランド化に取り組んでいる。

問 農地のあつせんや農業用機械の利用は。

答 野上産業交流課長

農地の賃貸借物件は33件、使用貸借で11件。農業用機械では町有ユニボをオペレーター付きで利用できる。

また、セイロ昇降機、自動車の昇降機、運搬機器、モノレール、動噴自動巻き取り機等の補助制度もある。

問 「野菜果樹農家の経営所得安定対策」のため生産

販売強化の基金創設はどうなっているのか。

答 福田副町長

県では、野菜果樹などの所得安定のため、全ての作物に適用されるよう見直され、本年度は調査研究費が計上されている。

問 勝浦町の農業は人口減少と高齢化で、衰退の一途である。町としてどう取り組むのか。

答 中田町長

みかんのブランド化を進め、農業所得の向上と「中山間直接支払い制度」の継続や集落協定の充実を図り、町単で有害駆除の対策、高齢者の作業負担の軽減を図れる機械の導入をしたい。

ホタル歩道橋の改良について

問 通学路として30数年前にできた歩道橋で老朽化している。早急に調査を。

答 柳沢建設課長

23年度に構造計算、安全点検を実施し、事業費7000万円を鉄柱の補強や床板、フェンスやガードレールも改修しているが、今後も引き続き、安全点検をしていく。

問 与川内から改善センターまでの歩道橋の重量計算はできているのか。

答 柳沢建設課長
群集計算をかけ、1メートル



今後も安全点検を（与川内）

トル当たり350キロで計算、設計強度は満たしている。

問 毎年、ホタル祭りで大勢の人が訪れている。年ごとに増加する観光客に、歩道橋の落下が心配されている。早急に改良を。

答 中田町長

歩道橋の点検調査を内部で検討し、専門業者と相談をし結論を出したい。

給食にもつと野菜を

「野菜たっぷりの日」を設ける

(教育委員会事務局長)

井出美智子議員



問 給食に野菜をもう一品加えて欲しいとの要望がある。保護者負担ではなく、町の施策として増やしたらどうか。

答 久木教育委員会事務局長

管理栄養士からの提言で、

月2回程度、「野菜たっぷりの日」を設けることを検討している。

問 今の職員配置で大丈夫なのか。

答 久木教育委員会事務局長

野菜は、流水で2回洗うため、毎日となると負担が大きくなるが、月2回程度であれば可能。



しっかり野菜を

問 経費はどのくらい必要か。

答 久木教育委員会事務局長

毎日となると、年間約100万円必要だが、月2回程度であれば、年間10万円くらいと想定している。



久木教育委員会事務局長

ひきこもり無業者への対策を

問 20歳から59歳で仕事なし、友達なし、配偶者なし、寂しく孤独な毎日を過ごす「ひきこもり無業者」が急増しているが、町内では何人くらいいるのか。

答 大西福祉課長

町として、対応しているのは、現在10人ほどである。

問 支援体制は、どうなっているのか。

答 大西福祉課長

生活状況を把握し、カウンセリング中心の支援をしている。

問 先進的な取り組みをしている秋田県藤里町では、1300人の対象年齢者のうち、8・7%の113人が該当している。勝浦町でも専任の職員を充てて、実態調査をしたらどうか。

また、就労支援施設を開

き、職員が「おせっかい」をして、外に連れ出すなどの取り組みをしたらどうか。

答 大西福祉課長
町単独での取り組みは難しいので、県や広域での取り組みに委ねたい。

若者定住促進の制度を

問 若者向け賃貸住宅建設だけでなく、永住へとつながる施策の充実が求められている。子育て世代を対象に様々な補助をしたらどうか。子育て世代の新築住宅への固定資産相当額を3年間交付、中古住宅購入、地元業者を使って中古住宅の半年以内のリフォーム、古家を解体しての新築等に補助をしたらどうか。

答 伊丹参事

国の施策として、様々な新築軽減施策があるので、町としての上乗せは考えていない。

答 中田町長

若者の永住につながる施策の貴重な提言として受け止める。

大災害への備え

各地区に防災士を

研修費を助成 (町長)

国清一 治議員



問 近い将来必ず起きる「南海トラフ大地震」に備える防災・減災対策が急務であるが、発災時には、自分の命は自分で守り、家族の安全確認、そして被災者を助ける「自助・共助」が9割を占めると言われている。それを実践するためには、防災に対する専門的な知識や技能が必要である。

答 県においては防災に対する研修や講習があるが、どのようなものか。

答 福田副町長
県においては、地域の防災リーダーを養成する「地域防災推進委員養成講座」や地域に出向く「出前講座」などがある。

問 各地区の役員や自主防災組織、役場職員を含め、一人でも多くの方が、防災に対する知識や技能をもつ「防災士」の養成が必要でないか。

答 また、研修費など助成をしてはどうか。



どんどん受けよう防災講座

答 中田町長
防災に対する専門的な知識を持つことは必要であり、研修費などの助成を予算化したい。

県道新浜勝浦線

「中山工区」の完了 「星谷工区」着工へ

問 県道新浜勝浦線「中山工区」の進捗状況は。また、「星谷工区」の来年度、早々の着工は。

答 柳沢建設課長
現在、中山工区の「道路詳細設計業務」の作業中で、

どう進む「3期工事」

沼江バイパス

問 沼江バイパス「3期工事」の町の取り組みと県の動きは。

答 柳沢建設課長
事業費の縮減に向けて町も協力するため、「残土処

地権者との境界立会を行い、用地交渉に入る。

答 中田町長
「中山工区」を年度内に完了し、27年度の早い時期に「星谷工区」に着工したい。

理場」の計画を進めている。

答 福田副町長
県は、ルートの選定に向けての現地調査は終わっており、最終判断をする時期となっている。

早期の改修を

鶴林寺トイレ

問 平成22年に国の史跡に指定された鶴林寺は、四国八十八ヶ所20番札所として、全国から多くの参拝客が訪れている。

しかし、町道終点のトイレが旧式で汚いと苦情が多く、観光、環境面で問題があるが、改修できないのか。

答 久木教育委員会事務局長
国の史跡に指定されたことで、文化庁の国補事業の対象になるが、クリアしなければならぬ課題が多い。

答 中田町長
地元関係者と協議しながら、今後の方針を決めたい。

麻植秀樹議員



土石流対策

砂防ダム建設は

測量設計を実施する（建設課長）

問 中角地区、前山谷川の砂防ダム建設について、工事スケジュールはどうなっているのか。

答 柳沢建設課長

8月1日から、設計コンサルタントが現地に入り測量設計を行い、それを基に用地交渉に入りたい。



砂防ダム予定地（中角）

また、交渉次第では一部工事に着手する。

県道徳島上那賀線

中角通学路の見直しは

見直しは

問 中角地区、通学路の改良工事は、住民から完成の

南岸堤防の強じん化は

それに伴い上部の拡幅を行い、緊急援護車両なども通行できるバイパス整備も必要でないか。

問 南海トラフによる地震災害異常気象による大洪水発生時に、現在の南岸堤防は決壊の恐れはないのか。

また、生比奈小学校の体育館は、緊急避難場所に指定されているが、堤防の決壊により二次災害の発生も予想される。堤防の強じん化や、

時期についての問い合わせが多く、保護者や見守り隊の方からも、安全に通学ができるように歩道の整備の要望が寄せられている。整備並びに完了予定の時期は。

答 柳沢建設課長

工事再開は、10月頃に発注し、27年度末には完成させたいと思っている。もちろん歩道も整備する。

住民の安心・安全の確保に對しどのような施策を講じるのか。

答 柳沢建設課長

昭和25年9月3日のジェーン台風の後に復旧工事を行った。その後は16年、18年、19年、最近では23年にも瀧水たきみづが発生し、改修工事を行った。堤防としては完璧とは言えないので、緊急避難場所の安心・安全の確保に對し、県へ強じん化対策を強く要望していきたい。



決壊の恐れは？（南岸堤防）

電動車いす

安全対策は

危険箇所の対策をする (建設課長)

森本
守議員



問 県内では、電動車いすの台数が増えるのに伴い、事故が多発している。現在、町内でどのくらい利用者がいるのか。

答 大西福祉課長
現在、貸付制度はないが、個人所有として25〜30台ぐらいいると思われる。

問 販売時に安全の指導はされているのか。

答 大西福祉課長
業者が取扱いの説明を行っている。

問 県から事故防止の指導はあったのか。

答 福田副町長
県では、交通安全指導と合わせて行っている。

問 車輪間隔が低く重心が高いため、転倒する危険性がある。道路で危険な箇所はないのか。

答 柳沢建設課長

今のところ、事故の報告はないが、危険箇所については対策を講じていく。

地籍調査について

今までの実績は

問 当初計画と10年間の実績は。

答 柳沢建設課長

総面積68・09平方キロメートル有り、16年から40年間の予定で始まった。26年度発注済みまでで8・75平方キロメートル、全体の12・8%が完了する。

問 「森林境界明確化事業」

の実績は。

答 野上産業交流課長

24年から基金を使って、奥立川地区で24年140ヘクタール、25年320ヘクタール、26年125ヘクタールを実施している。

問 「山村境界基本調査」は地籍調査の予備調査であり、那賀町などで成果を上げている。勝浦町も実施してはどうか。

答 柳沢建設課長

この調査は、所有者の立会を求めず、地元精通者による地番の確認をするもので、土地に精通した人の責任が重いので実施は難しい。

杭を支給するので、相手と確認し、杭を打ってもらいたい。

特定健診について

一部負担金は無料にしては

問 特定健診を巡回で受けた人数は何人か。

答 前田税務課長
25年度326人、26年度336人である。

問 生活指導や食事指導を行った人はどのくらいか。

答 大西福祉課長
およそ20%の人に指導している。

問 より健診率向上を目指すために、特定健診は無料にすべきではないか。

答 前田税務課長

自分で健康管理する自覚をもっていただきたい。

その他の質問

○国の動きと町民の安全安心について



気をつけてネ

「道の駅」運営、管理

効率的な運営方法は

指定管理者導入を（副町長）

部 公一議員



問 25年度に「道の駅」の効率的な運営を調査するため、コンサルタントに委託し、その最終報告を受けて運営協議会で検討した内容は。

答 福田副町長

委託先から財務状況の分析や利用者へのアンケート調査の結果報告があり、リピータが多く高い満足度が得られている。

また、収益性のみならず公益性とのバランスも重要との内容であった。

問 今後、運営や管理の形態について、どのように進めていくのか。



新しい地域協力隊の秋山さん

地域おこし協力隊の拡大を

答 福田副町長

26年度末から27年度初めに指定管理者の公募を行う予定である。

問 国は「地域おこし協力隊」を現在の3倍に増やす計画であるが、町も交流事業だけでなく、柁を広げて活性化に役立てるべきではないか。

答 福田副町長

都会の若者の発想をどの分野で活用できるのか、今後の増員について考えたい。

若者定住対策

問 沼江地区に建設された賃貸住宅は、若者定住の目的に沿った入居状況になっているのか。

答 伊丹参事

入居状況については、プライベート保護の関係で公表できないが、現在の入居者は目的に沿った状況になっている。

問 今年度も賃貸住宅建設の補助金を予算計上しているが、現状はどうなっているのか。

答 伊丹参事

10件ほどの問い合わせがあり、現在は2件と交渉中である。

役場庁舎、福祉センターの耐震、改修は

問 耐震、改修の基本計画が策定されたが、どのように利便性が増すのか。

答 伊丹参事

役場庁舎は電算室を移転して、事務処理の効率アップを図る。

また、災害対策本部としての情報機器の整備場所を確保する。

答 大西福祉課長

福祉センター2階の和室を洋室に改装し、多目的に利用できるようにする。

また、トイレを男女別にし、空調関係も新しくするなど機能向上を図る。

その他の質問

- 消防の常備化
- 町の財政状況

美しい・町のボランティア

シリーズ⑥

励ますことのできる女性会 「更生保護女性会」

女性の立場から、犯罪や非行をした人の更生・支援活動を行い、明るい社会の実現に寄与することを目的とするボランティア団体です。

会員は42名で保育所の子育て支援やサルビア作業所の手伝い、自立会訪問等の活動を行っています。



会長
片山佳子さん



健康福祉まつりでのバザー



サルビア作業所の手伝い

楽しいそうめん流し

コスモス保育園

表紙写真



プロ野球も後半戦に入り、優勝争いも熱をおびてきている。名監督の野村克也氏が以前、「最近のプロ野球選手はキャッチボールのできない者が多い」と言っていたことがある。プロの選手であるにもかかわらず、基本ができていないという事らしい。議会は新しく、町民の声を聞き、課題を町に提言するための懇話会「町民とのキャッチボール」を始めた。キャッチボールの基本は、相手の胸をめがけてしっかりと投げ、受け手はきっちり受け取る事である。初めは少しそれたり、山なりのボールになるかもしれないが、町民の皆さんと議会の間には、信頼のやり取りができるように努めたい。(公一)

編集後記

